

長子配布

【学校教育目標】「一人一人の笑顔が輝く簗木小～自ら気づき、考えて、動く子どもの育成～」

唐津市立簗木小学校 令和5年度 学校便り 第24号



自ら輝きつつ
仲間を照らし
未来を創る
「太陽の子」

きらめく 簗木

令和6年1月9日 文責 校長 福田 啓子



成長の令和6年(2024年)に。

令和6年(2024年)が始まりました。旧年中は、本校の教育活動に格別の御理解と御協力をいただき、ありがとうございました。本年もよろしくお願いいたします。

穏やかな新年を迎えられたと思っておりましたが、国内では地震や事故、火災などの災害が多発しました。国外では紛争が続いています。被災されている方々、戦禍に置かれている人々の状況を思うと、当たり前のように過ごせる1日がどれだけ有り難いことなのかを感じずにはられません。

今年の干支は「甲辰(きのえたつ)」です。甲辰(きのえたつ)は、新しいことを始めて成功する、いままで準備してきたことが形になるといった、縁起のよい年になると考えられます。3月に閉校し、4月から新たな学校で学ぶ子供たちにとって、ぴったりの年といえるでしょう。

恵まれた環境で学べること・教えることの有り難さをかみしめながら、職員一同、子供たちの教育活動に邁進し、簗木小学校の「有終の美」を飾る所存です。



大谷選手からグローブが届きました。

地域の皆様の関心も高かった大谷選手からのグローブ。年末に簗木小学校にも届きました。子ども用のグローブが3個です。添えられたメッセージには、「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。」という文がありました。大谷選手は小学2年生から野球を始めたそうです。その野球との出会いがかけがえのないものになったように、子供たちにも、「子供のうちに何か夢中になれるもの、続けてやりたいと思うものと出会っておこう。そうすれば、その後も、目標を失わず頑張ることができる。」と伝えたかったのではないかと思います。

このグローブ寄贈に合わせ、唐津市上場商工会青年部から発足した「こども応援し隊」より、軟式ボール3個も寄贈していただきました。

このグローブとボールで子供たちがキャッチボールをし、大谷選手や「こども応援し隊」の思いに触れ、夢や目標を持つことができるようにしていきたいです。



引き渡し訓練を行います。(1月19日)

新型コロナウイルス感染症のため、中止しておりました「災害時における児童引き渡し訓練」を3年ぶりに実施します。当日は、授業参観も行います。授業後、引き渡し訓練を行います。今回の能登地震でも地震に関連する災害が立て続けに起き、避難の大切さを感じました。災害を「いつ自分たちの身に起こってもおかしくない」と捉え、真剣に訓練に臨みたいと思います。皆様の御協力をよろしくお願いいたします。詳しくは、12月21日に配布した文書をお読みください。

